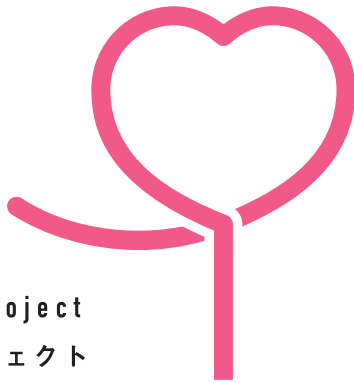


O I T A

ITO DENWA Project

おおいたいとでんわプロジェクト



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



災害時に届きにくい
小さな声をつなぐ、
要配慮者のための
防災プラットフォーム

災害時に一般避難所への避難が難しい「高齢者」「障がい者」「乳幼児家庭」などの
要配慮者を対象にウェブサイトを活用し、
支援団体にニーズ（情報）をつなぐプロジェクトです。

聞く 災害時にこんなことが困りそう…を、聞く、知る。

調査する 対象 宿泊施設の方

【一次避難可能な宿泊施設の情報】

事前調査にご協力ください

ホテルに伺い、
要配慮者の視点で
バリアフリー状況を調査。
ウェブサイトで紹介します。



※災害時のホテル利用に関しては、
特別な割引や介助サービス、優先対応等を
求めるものではありません。

ニーズをつかむ 対象 要配慮者の方

【小さな声の収集(事前登録)】

災害時にあなたが
必要とするモノを
教えてください。
支援団体に情報を提供します。



活動は Facebook から
(登録サイト準備中)

スマホで回答可能！

※回答したものが災害時に届くことを保証するものではありません。
お住まいの地域の支援団体へ情報提供を行います。

【ウェブへの事前登録のお願い】

伝える 支援団体にニーズを伝える関係作り



いとでんわ
プロジェクト

つかんだニーズを
被災地域の支援団体や
支援者に伝える

ニーズや
情報提供



支援者、団体（社会福祉協議会など）

活動の
お願い



結び手

(企業、団体、個人)

【2021年度は登録のみ】
2022年度以降に
支援体制づくり

団体の特徴を
活かした
できる範囲の活動



担い手

(地元商店や個人)

災害発生時に
結び手から支援依頼



特定非営利活動法人

地域ひとネット

「おおいたいとでんわプロジェクト」は休眠預金を活用して実施しています

プロジェクトの背景

一般避難所となる施設は、バリアフリートイレがないことがあり、避難所へ避難したくても出来ない状況があります。また、乳児のいる家庭ではミルクやオムツなど、必要とする情報が支援団体に伝わっていないこともあります。

このプロジェクトでは、「命を守る一つの選択」としてバリアフリーホテルの情報提供、物資、支援内容の事前登録をすることによって、災害時に弱い立場になりやすい要配慮者の方々の必要なニーズを吸い上げ、いざというときに届きやすくなる、小さな声をつなぐ活動です。



要配慮者の方が 避難する際の 課題の一例

高齢者

- ・トイレへの移動が難しい
- ・介護用のおむつが必要なのに言い出せない
- ・持病があるためコロナ禍での集団生活が難しい

障がい者

- ・車イスが通れる通路、段差の解消など、施設のバリアフリー情報が分からない
- ・介助者や支援者が寄り添うことができる環境が難しい（盲導犬の同伴など）

乳幼児家庭

- ・赤ちゃんが泣くので気を使ってしまう
- ・粉ミルクがあっても哺乳瓶や消毒剤、授乳スペースがない
- ・アレルギーがあるので必要な物資が届きづらい

避難所以外から 届きにくい 要配慮者の声を 届けるために。

災害時、避難所に
避難できなかった方

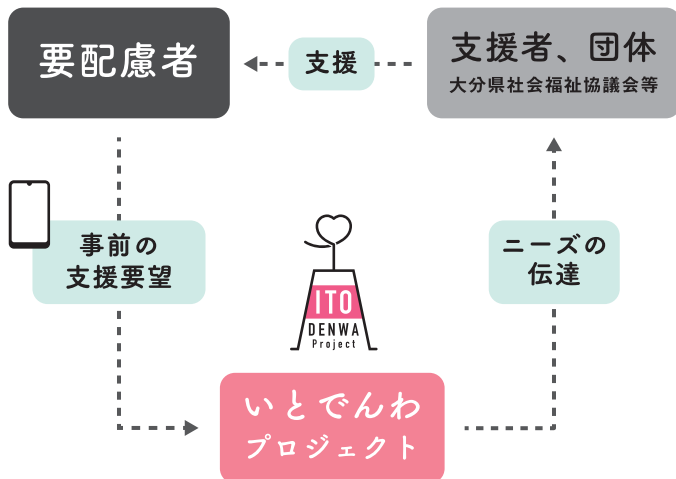
41%

※2016年度「誰もが安心して安全に暮らせる
災害時要配慮者の仕組みづくり」の報告より
(出典：福祉フォーラム in 別件遠見実行委員会)

要配慮者は発災時に
避難所の利用が難しく、
ニーズの声が
支援団体に伝わりづらい

事前の情報共有で
伝わりづらかった
ニーズを少しでも
届けるための一歩です

活動と情報の流れ



いとでんわプロジェクトでは、要配慮者にとって必要な物資や一次避難所となるホテルのバリアフリー情報を閲覧することのできるウェブサイトを活用し、ニーズを支援者、支援団体に伝達します。

結び手、担い手の役割と活動の例

災害時の支援と聞くと、力仕事や寄付などが思い浮かびますが、いとでんわプロジェクトでの結び手や担い手は「できる範囲で、得意なことを」お願いすることが中心です。現地ですること、離れてできること、それぞれの地域団体が何が得意か知っていることが大事な要素となります。

結び手 災害時に地域の担い手とのハブになる方

- 地域の「担い手」の得意なことを把握する方
- 地域と支援団体の窓口になる方

担い手 地元商店や個人、団体のこと

- 話相手になったり、見守りをする
- 子どものお世話を手伝う
- 物資の置き場所を提供する
- SNS 発信や事務処理を手伝う

ご関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

事務局



特定非営利活動法人

地域ひとネット

<プロジェクトメンバー>

NPO法人地域ひとネット 代表 谷川真奈美/NPO法人自立支援センターおおいた 代表 後藤秀和、
村野淳子(別府市防災局 防災推進専門員/中央防災対策実行会議 委員)/EGO 代表 長谷川健治

<連携団体>

(公財)おおいた共創基金、(社福)大分県社会福祉協議会

[電話] 097-547-2424

[携帯] 080-9092-5534 (担当: 谷川、野尻、安東)

[メール] info@chiiki-hito.net

<http://chiiki-hito-net.com>

【個人情報の取り扱いについて】個人情報は当プロジェクトの事業活動に必要な範囲に限定して、適切に取得、利用、提供いたします。ご本人の同意を得ることなく必要な範囲を超えた個人情報の取り扱いを行いません。